

# 鳥取県の推計人口（年報）

【令和2年10月～令和3年9月】

鳥取県人口移動調査において、1年間（令和2年10月～令和3年9月）の状況を下記のとおり取りまとめました。

記

## 1 鳥取県の推計人口

鳥取県の推計人口は548,562人、562人で、前年に比べ4,845人減少し、平成8年以降26年連続の減少となった。

令和3年10月1日現在の推計人口は548,562人で、前年に比べ4,845人減少し、世帯数は220,693世帯で、前年に比べ951世帯増加した。

年	人口（人）			人口性比 （男性/女性）×100	世帯数（世帯）	1世帯当たりの人員（人）
	総数	男	女			
令和3年(a)	548,562	262,227	286,335	91.6	220,693	2.49
令和2年(b)	553,407	264,432	288,975	91.5	219,742	2.52
対前年差(a-b)	-4,845	-2,205	-2,640	0.1	951	-0.03

年齢3区分別の構成割合は、年少人口は12.4%、生産年齢人口は54.7%で過去最低、老年人口は32.9%で過去最高となった。

年齢3区分別の人口を前年と比べると、年少人口は1,242人減少し、生産年齢人口は4,471人減少した。一方、老年人口は868人増加した。

区分	人口（人）	構成割合（%）	対前年増減（人、ポイント）	
年少人口（0～14歳）	67,088	12.4	-1,242	-0.1
生産年齢人口（15～64歳）	295,531	54.7	-4,471	-0.3
老年人口（65歳以上）	177,914	32.9	868	0.4
うち75歳以上	91,468	16.9	-1,007	-0.1
総人口	548,562	—	-4,845	—

注1) 総人口は年齢不詳(8,029人)を含む。

注2) 構成割合は総人口から年齢不詳を除いて算出。

## 2 人口動態

1年間の人口動態は、自然増減、社会増減ともに減少し、減少幅は前年に比べ584人拡大した。

人口増減では、自然増減は3,795人の減少、社会増減は1,050人の減少、合計4,845人の減少となり、減少幅は前年に比べ584人拡大した。

(単位:人)

区分	人口増減	自然増減			社会増減	県外転入・県外転出	
		自然増減	出生	死亡		県外転入	県外転出
令和3年(a)	-4,845	-3,795	3,698	7,493	-1,050	9,334	10,384
令和2年(b)	-4,261	-3,327	3,852	7,179	-934	9,423	10,357
対前年差(a-b)	-584	-468	-154	314	-116	-89	27

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

自然増減は、3,795人減少し、24年連続の減少となった。

出生数は3,698人で前年と比べ154人減少し、死亡数は7,493人で前年と比べ314人増加した。

月別では、出生数は令和2年12月の349人、死亡数は令和3年1月の797人が最も多く、すべての月で死亡数が出生数を上回って自然減少となった。(最大減少月: 令和3年1月、510人)

**社会増減は、1,050人減少し、21年連続の減少となった。**

県外転入者数は9,334人で前年と比べ89人減少し、県外転出者数は10,384人で前年に比べ27人増加した。年齢5歳階級別の社会増減は、0～4歳が167人と最も増加し、20～24歳が1,012人と最も減少した。

(単位:人)

区分	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
県外転入	606	275	125	743	1,877	1,502	1,056	821	528	501	376	322	196	138	92	176
県外転出	439	285	147	1,023	2,889	1,701	1,010	739	516	487	386	297	122	100	62	181
社会増減数	167	-10	-22	-280	-1,012	-199	46	82	12	14	-10	25	74	38	30	-5

**3 市町村別推計人口**

**推計人口が最も多いのは鳥取市の187,238人、最も少ないのは江府町の2,595人**

市町村別で推計人口が最も多いのは鳥取市の187,238人、次いで米子市の146,753人であり、最も少なかったのは江府町の2,595人、次いで若桜町の2,767人であった。

**前年と比べると、年少人口割合は2町で上昇、生産年齢人口割合はすべての市町村で低下、老年人口割合はすべての市町村で上昇**

年少人口割合は日吉津村の14.6%が最も高く、次いで湯梨浜町の14.0%であった。前年と比べると、岩美町及び江府町で上昇し、鳥取市など11市町で低下した。

生産年齢人口割合は鳥取市及び米子市の57.1%が最も高く、次いで日吉津村の56.6%であった。前年と比べると、すべての市町村で低下した。

老年人口割合は日南町の52.8%が最も高く、次いで日野町の51.4%であった。前年と比べると、すべての市町村で上昇した。

区分	人口構成状況
年少人口割合(0～14歳)	[上昇] 岩美町、江府町 [同水準] 境港市、三朝町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町 [低下] 上記を除く、11市町
生産年齢人口割合(15～64歳)	[低下] 全市町村
老年人口割合(65歳以上)	[上昇] 全市町村

**4 市町村別人口動態**

**人口増減は日吉津村を除くすべての市町で減少**

人口増減は、日吉津村で31人増加したが、その他の市町で減少した。最も減少したのは鳥取市の1,227人、次いで倉吉市の657人であった。

**自然増減は日吉津村を除くすべての市町で減少**

自然増減は、日吉津村で7人増加したが、その他の市町で減少した。最も減少したのは鳥取市の946人、次いで米子市の632人であった。

**社会増減は米子市、北栄町及び日吉津村を除く市町で減少**

社会増減は、米子市で68人、北栄町で61人、日吉津村で24人増加したが、その他の市町で減少した。最も減少したのは鳥取市の281人、次いで倉吉市の280人であった。

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への735人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への556人

県外転入者は島根県から米子市への735人が最も多く、次いで兵庫県から鳥取市への387人であった。

県外転出者は米子市から島根県への556人が最も多く、次いで鳥取市から大阪府への447人であった。

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
島根県	1,304	735	234	144	191	1,152	556	203	145	248
大阪府	930	351	244	95	240	1,177	447	369	77	284
岡山県	892	340	294	91	167	865	335	277	70	183
兵庫県	793	387	185	58	163	911	429	252	55	175
広島県	776	318	265	54	139	824	338	279	52	155
東京都	722	255	236	53	178	939	372	284	66	217
外国	464	181	119	41	123	470	190	63	49	168

#### <参考> 外国人(国籍不詳を含む)の推計人口・人口動態

推計人口は9,230人で、前年に比べ198人減少した。

令和3年10月1日現在の推計人口(国籍不詳を含む。以下同じ。)は、9,230人で、前年に比べ198人減少した。男女別人口は、男性3,973人、女性5,257人であった。

市町村別の推計人口は、米子市の3,998人(男性1,667人、女性2,331人)が最も多く、次いで鳥取市の3,201人(男性1,612人、女性1,589人)であった。

県外転入者数は805人、県外転出者数は1,000人で、転出超過数は195人

自然動態をみると、出生数は11人(男性4人、女性7人)、死亡数は14人(男性10人、女性4人)であった。

社会動態をみると、県外転入者数は805人(男性409人、女性396人)、県外転出者数は1,000人(男性475人、女性525人)で、転出超過数は195人(男性66人、女性129人)であった。

市町村別の県外転入者数は、鳥取市の283人(男性159人、女性124人)が最も多く、次いで米子市の224人(男性108人、女性116人)であった。県外転出者数は、鳥取市の299人(男性152人、女性147人)が最も多く、次いで米子市の202人(男性106人、女性96人)であった。